

令和4年2月17日

第12回県病医療連携フォーラム
共催団体 各位

青森県立中央病院
医療連携部

「第12回県病医療連携フォーラム」のオンデマンド配信開始について

平素より、当院の医療連携につきまして御協力頂き、ありがとうございます。

さて、令和3年12月4日、貴会の共催をいただきまして「第12回県病医療連携フォーラム」開催させていただきましたが、このたび、当日参加できなかった医療従事者・行政関係者を対象に、添付チラシのとおりオンデマンド配信を開始いたしましたので、広く会員への周知に御協力くださるようお願い申し上げます。

記

1 送付物 オンデマンド配信の申し込み方法を記したチラシ

〒030-8553 青森市東造道2丁目1-1
青森県立中央病院 医療連携部
企画グループ 三上
TEL : 017-726-8493
FAX : 017-752-9733
mail : kazutaka_mikami@pref.aomori.lg.jp



第12回 県病医療連携フォーラム

コロナ禍における

オンデマンド配信

うつや自殺患者の動向と地域連携を考える

「救命救急センターにおけるうつ・自殺企図の患者の現状」

青森県立中央病院 救急部長 齋藤 兄治 先生

自殺企図患者は、身体治療と精神的治療の双方の治療を要するため、総合病院へ搬送されることが多い。自殺企図は自殺完遂のリスクファクターであるため、自殺予防目的で精神科へ紹介している。当院救命救急センターにおける過去3年間の自殺企図患者の現状について報告する。



「地域におけるうつ・自殺の現状」

中野脳神経外科・総合内科クリニック 院長 中野 高広 先生

地域の医療者には、希死念慮の患者に対してどう向き合うのかが問われる。少し前の世代までは、「生者と死者が近くにいる」感覚が当たり前であった。最近はグリーンケアやナラティブメディスンが取り入れられているが、自殺予防にも死者からの視点のような語られ方があってもよいのではないかと思う。



「地域の精神科クリニックにおける患者受診の傾向」

メンタルクリニック ラ・ポム 院長 鈴木 克治 先生

コロナ禍において、経済困窮と孤立化が自殺を増加させおり、患者の経済状況や支援環境に目を向けることが大切である。また、死にたい理由を共有しようとする姿勢や共に考える姿勢が力になる。一方、自殺企図患者への支援体制やうつ病への考え方については、いろいろな課題を感じている。



「うつや希死念慮の患者への対応と地域連携」

芙蓉会病院 公認心理師 佐々木 亜矢子 先生

ストレス状況を抱えた方にお会いする時のポイント、その後の「つなぐ」ときのポイントなどを事例を紹介する。



「コロナ禍における全国・青森県の自殺の現状と未遂者支援」

青森県立保健大学 健康科学部看護学科 教授 反町 吉秀 先生

コロナ禍では、全国・青森県ともに自殺者数は増加し、自殺対策の強化が求められる。未遂歴は自殺の最大のリスクファクターであり、未遂者支援は、最も優先順位の高い自殺対策である。組織的な自殺未遂者支援を紹介し、青森市・青森県における今後の未遂者支援につなげたい。



お申込み方法については裏面をご確認ください

令和3年12月4日(土)にオンライン開催されたフォーラムを録画したものが
医療従事者および行政関係者を対象に、公開されることとなりました。

視聴を希望される方は、下記のとおりお申込みください。

申込み方法（動画視聴までのながれ）

1. メール本文に **氏名・施設名・連絡先・職種を明記** のうえ、
iryorenkei-forum@med.pref.aomori.jp 宛てにお申込みください。
2. ご連絡いただいたメールアドレスに、動画視聴のためのURLを送付します。
お申込みメールを確認後、翌営業日までに順次返信させていただきます。
2営業日が過ぎても、こちらからの返信がない場合は、お手数ですが
TEL：017-726-8493までご連絡くださいますようお願いいたします。
3. URLにアクセスし、下記の動画公開期間内にご覧ください。

このURLの転載および他人への譲渡は禁止です。

また、動画の録画や撮影、資料の二次利用、SNS等への投稿も禁止しております。

※動画を視聴する際のインターネット通信料は、視聴者のご負担となります。
ご覧いただく際は、Wi-Fi環境下または通信量無制限サービスご利用の端末での
視聴をおすすめします。

視聴申込期間：令和4年2月14日(月)～5月20日(金)

動画公開期間：令和4年2月14日(月)～5月31日(火)

【お問い合わせ】 青森県立中央病院 医療連携部

企画グループ 三上 TEL：017-726-8493